

地域活性化という「遊び」

46

京都市
福知山市 「みわ・ダツシュ村」から

山本晋也

紅 葉の美しい限界集落に
サンフランシスコから

農場レストランにお客さんが来店。

なんとこのお客さん

今回が3回目になります。

前回までは手打ちバスタ、寿司、天

ぷら等

手間暇かけて子供たちの料理をたつ



ベトナム料理では砂糖の代わりにココナッツで甘みをつけるなど大変勉強になりました。

ぶり味わっていただきましたが

今回は料理を教えて欲しいし

僕らと一緒に食事もしたい。

そしてただ教わるだけではなく

自分たちの文化も知って欲しいとい

うことで

お客さんにも料理を教えていただく

ことになりました。

メニューはお客さんの希望を聞いて

茶碗蒸しと手巻き寿司。

お客さんからは豚肉を使った

ベトナムの家庭料理を教えていただ

くことに決定。

奥さんは

ベトナム系アメリカ人なので

家でもよくベトナム料理は作られる

とのこと。

ただ豚肉そのままでは面白みに欠け

嫌がられる「皿洗いと草刈り」を

セラピーにする楽しさ

るので

こちらの希望で

今回は地元のイノシシ肉を使って

いただくことにして

重要なナンプラーやココナッツは前

日に準備しておき

エシャロットは

見つからなかったの

代わりにノビルの根っこを使っても

りました。

毎日のように本やネットで

レストランで出されるような

特別な料理を必死に研究している

うちの子供たちですが

今回教えていただいたのは

レストランで出されることはまず無

いという典型的な家庭料理。

でもそれがかえって子供たちの興味

筆者プロフィール

1968年、京都生まれ。美術大学を卒業して渡米後、京都で現代美術作家として活動。そのかたわらオーガニックレストランを経営するも食材を種から作ってみたいとなり、京都市内で畑を始める。結婚して3人の子供を授かったころ、農業生産法人みわ・ダツシュ村の清水三雄と出会い、福知山市の限界集落に移住。廃屋を修繕しながら家族で自給自足を目指す。土と向き合ううち田畑と山や川、個人とコミュニティーの関係やその重要性に気がつき、田舎も都会もすべて含めた「大きな意味での自給」を強く意識するようになる。この考え方は、美術家時代にドイツの現代美術家ヨゼフボイスのすべての人が参加して創り上げる社会彫刻という概念に影響を受けた。現在みわ・ダツシュ村副村長。

を惹きます。

今回来日されなかった息子さんは

プロ野球選手を目指して

現在台湾に留学中ですが

電話をするたびその料理が恋しいと

話されているそうです。

お母さんの味が素晴らしいのは

万国共通ですね。

一緒に茶碗蒸し、お寿司、ベトナム料理を作り

それを一緒に味わって

大変楽しい時間が過ぎた頃

旦那さんがみんなの使ったお皿を集

めてキッチンへ向かわれたので

僕らが後で洗いますから置いてお

てくださいという

「私は今お皿を洗いたいです」と

申されます。

こちらとしてはお客さんに

皿洗いなんでさせられないので困

ますと伝えるのですが

全く聞き入れてもらえません。



地元のおばあちゃん手作りこんにやくも食べていただきました。芋作りに3年ということに大変驚いておられました。

こちらのサーブスがあまりに良かったから引き換えにそんなことをされるのかと思ったのですが、そうでもないようでした。食事の後の皿洗いというのは通常レストランでも下っ端に押し付けたり家庭でも誰が洗うかで喧嘩の種になることもあるほど誰もが嫌がる作業。

手巻き寿司簡単なようですが海苔の裏表やご飯の量など美しく巻けるようにいろいろお伝えしました。



地元の寂れたバス停がトトロに出てきそうだと大変感動されてました。

最初はアメリカ人は正義感が強いので自分たちが食べたものは自分たちが洗うべきというような義務感とか責任感から出発しているのかと思いましたが、そうでもないようです。そのお客さんが言うのには君たちの労働に対して労働で返しているのではなく自分自身のためにやっているとのこと。興味を持ったので詳しく聞いてみたところ彼にとつて「皿洗いは労働ではなくセラピーである」という言葉が返ってきました。寒い冬にはお湯で手も体も温まるし皿を洗うと

ついでに自分の手も洗えるそして何よりきれいに皿を洗うことは自分の気持ちまできれいにしてくる。だから僕は皿が洗いたいんだ。お願いだから

僕に皿を洗わせて欲しいということでした。これにはちょっとびっくりしましたが理解が進むとともに感動が湧き上がってきました。そして同時に集落でちょっと暇があったら草刈りや庭仕事に精を出すお年寄りの姿が頭に浮かびました。あの人たちは僕らが田舎で最も嫌な労働と捉えている草刈りという作業をセラピーにしているのかもしれない。だから90過ぎててもあんなに元気でいられるに違いない。そのお客さんもそのことをサンフランシスコ在住の老芸術家に教えてもらったそうです。絵画、音楽、ダンスに振り付けと多方面で活躍され、すごく有名な方らしいのですが、そんな有名な方がパーティーの後いつもお皿を洗っておられ不思議になって尋ねたところ、そんな答えが返ってきたとのこと。素晴らしい話です。そんな経験をまた僕に伝えてくれたお客さん本当にありがとう。来年の草刈りシーズンがちょっと楽しみになってきました。